

正義の味方



東郷 潤

警察が、誰かを追いかけています。



親が子供をぶっています。

悪い子！

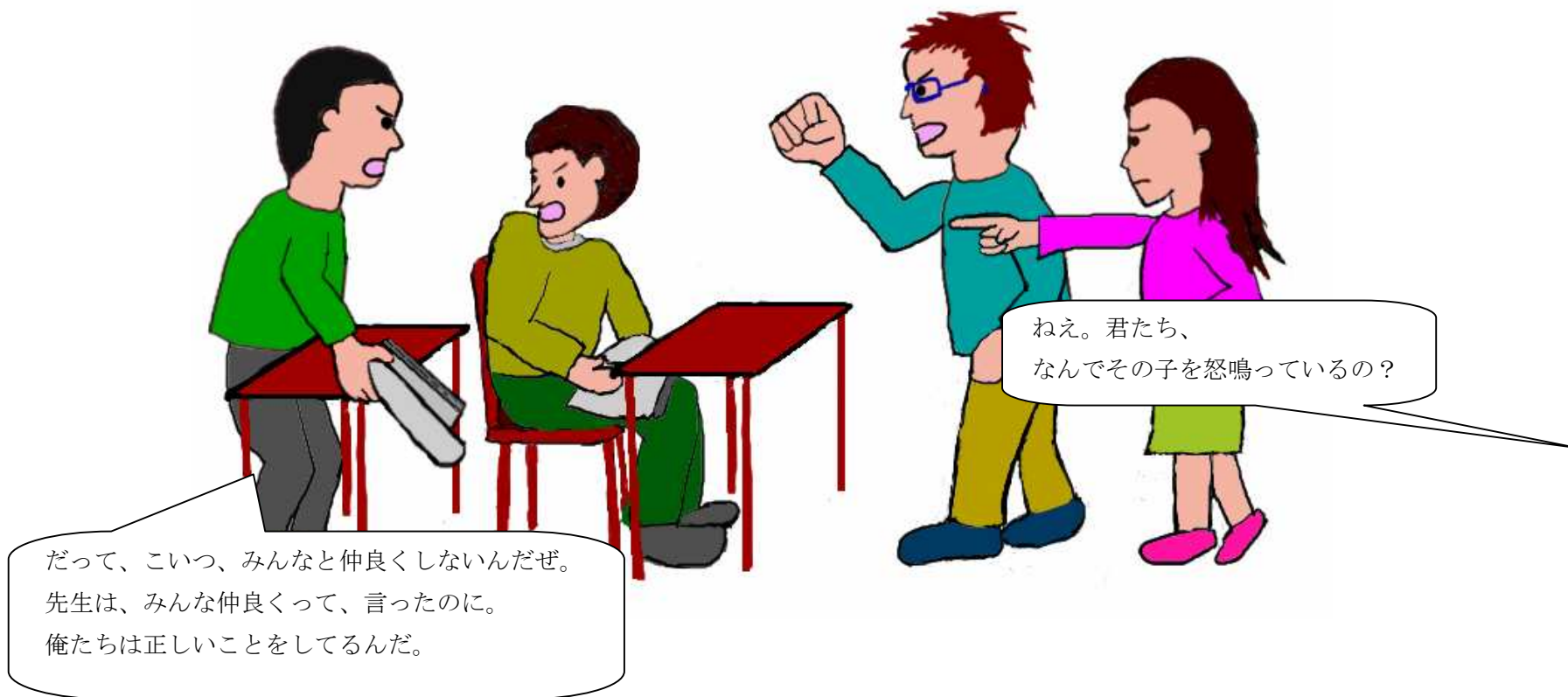


ねえ、なんでその子をぶつの？

子供をしつけているのよ。
親として正しいことをしているだけよ

子供たちが、クラスの子を怒鳴っています。

こらあ！



ある宗教の信者が、電車で毒ガスを仕掛けています。



君、なんで毒ガスを仕掛けるの？

教祖様が

「この乗客たちを生かしておくとな罪を重ねてしまう」
とおっしゃったんだ。

俺は、正しいことをしているんだよ。

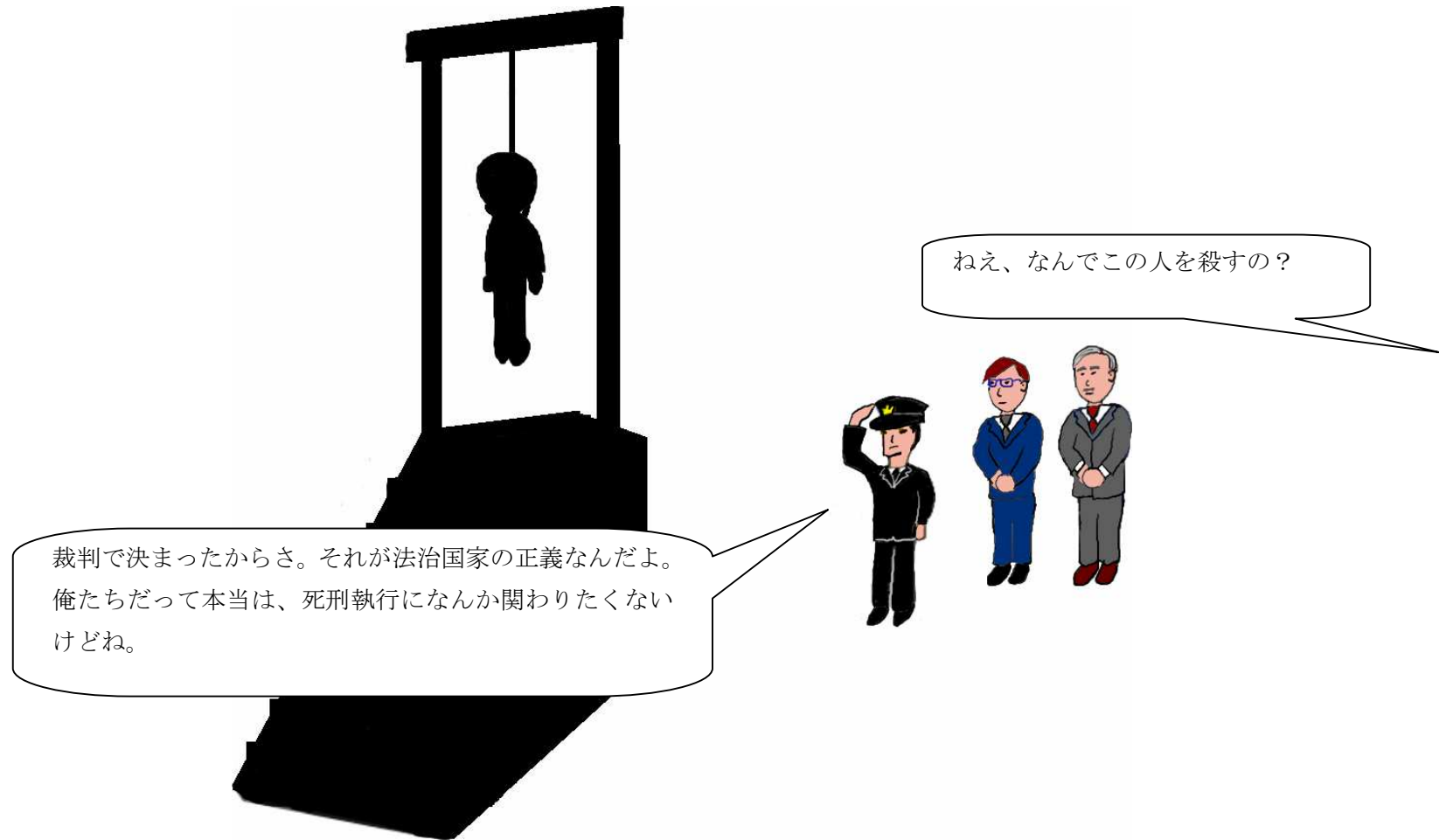
飛行機が爆弾を落として、人々を殺しています。



ここに、悪いテロリストがいるんだ。
これは正義のための戦いなんだよ。

ねえ、なんで爆弾を落とすの？

誰かが死刑になっています。



国会で、質問に立った議員が政府非難を繰り返しています。



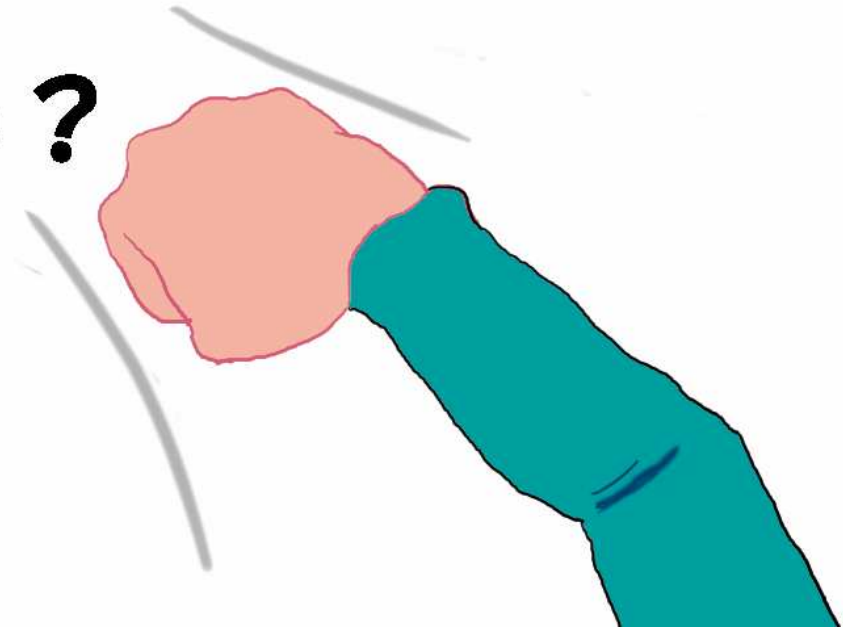
そっか。

誰かを攻撃する人はみんな、それが正しいことだと思って、やっているみたいだね。

—じゃ、ここで問題です。

あなたが正しいと思うことをひとつ、思い浮かべてください。どんなことでも結構です。

**あなたは誰を
攻撃しているの？**



あとがき

善悪という考え方／言葉は、本当に様々な錯覚を生み出します。そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(詳細は、下記WEBの絵本集、 弊著「善悪中毒」、「原爆への復讐」をご参照ください)。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010